

👁️👁️ みどころ

パク・チャヌク監督、チェ・ミンシク主演の『オールド・ボーイ』（03年）もすごかったが、本作もすごい。基本的枠組みは同じだからリメイク版とも言えるが、スパイク・リー監督はあくまで独自の視点にこだわっているはずだから、それに注目！

ハンマーを振り回す独自のアクションを楽しむだけではなく、20年間の監禁からなぜ解放されたの？そんなこみ入った謎解きのスリリングな展開と、驚愕の結末をしっかりと味わいたい。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■韓国vs米国、パク・チャヌクvsスパイク・リー■

日本は現在「クールジャパン」と銘打って、日本の優れたアニメやファッション等のコンテンツを海外に「輸出」しようとしているが、土屋ガロン（狩撫麻礼）作、嶺岸信明画のコミック『オールド・ボーイ』は既に韓国のパク・チャヌク監督が目をつけ、2003年に映画『オールド・ボーイ』として完成させ、2004年の第57回カンヌ国際映画祭で審査員特別グランプリを受賞する、すごい映画になった。私はそれについて、「日本産のコミックを原形としているが、この映画は全く新しい独自のストーリーを創り上げているうえ、俳優陣の演技の迫力は満点。韓国パワー全開の快作で、これではとても普通の日本映画は太刀打ちできないと脱帽！」と書いた（『シネマルーム6』52頁参照）。

韓国のパク・チャヌク監督が、『JSA』（00年）（『シネマルーム1』62頁参照）、『復讐者に憐れみを』（02年）、『親切なクムジャさん』（05年）（『シネマルーム9』222頁参照）、『イノセント・ガーデン』（12年）（『シネマルーム30』131頁参照）等の間

題作を次々と作り出した監督なら、ハリウッドのスパイク・リー監督も、古くは『マルコムX』（92年）、新しくは『25時』（02年）、『セレブの種』（04年）（『シネマルーム12』101頁参照）、『インサイド・マン』（06年）（『シネマルーム11』65頁参照）、『セントアンナの奇跡』（08年）（『シネマルーム23』88頁参照）等すばらしい作品を監督している。私は原作のコミックは読んでいないが、パク・チャヌク監督の映画を観て衝撃を受けたのはスパイク・リー監督も同じだったらしく、韓国版を見て彼はそのハリウッド版の監督（決してリメイクではない）を決意したわけだ。

韓国版で主演したチェ・ミンシクはピッタリのハマり役だったが、スパイク・リー監督が本作で主演のジョー・ドーセット役に起用したのはジョシュ・ブローリン。私は彼を『ウォール・ストリート』（10年）（『シネマルーム26』160頁参照）、『トゥルー・グリット』（10年）（『シネマルーム26』39頁参照）等で観ているが、それほど強い印象はなかった。しかし、5月5日に観たケイト・ウィンスレットと共演した『とらわれて夏』（13年）では強烈な印象を残したジョシュは、本作でどれほどのインパクトを見せてくれるの？基本的ストーリーがわかっていることはプラスにもマイナスにも働くが、さてスパイク・リー監督はそんな原作と、03年の韓国映画の名作をもとに、いかなるアレンジを…？

■□■一人芝居は大変だが、さすがの展開に！■□■

ハリウッドの俳優は背が高く胸板も厚いから高級スーツ姿がよく似合う。したがって、広告代理店の重役をしている主人公ジョーがちゃんとしたスーツ・ネクタイ姿で登場すると、すごくカッコいい。ところが、いかんせんジョーは傲慢な性格の上、アル中気味らしい。スクリーン上でみる、成約寸前までこぎ着けた商談をブチ壊しにしたのはあくまで自分のいやらしさのせいだから、反省すべきは自分自身なのに、ジョーがその後酒に溺れて町を徘徊する姿はあさましくかつおぞましい。これでは、妻ドナとの生活が破綻したのは当然だし、3歳の娘ミナと離れ離れにされたのも仕方ない。

世の中にはこの手のいわゆる「負け組」予備軍の男はたくさんいるが、泥酔して雨の中、中華街を彷徨い歩くジョーの側に立った、黄色い傘を持った女（ポム・クレメンティフ）は一体ナニ者？女の甘い誘惑につい惹かれていったのは男として仕方ないが、ジョーが目覚めると、何とそこは監禁部屋。みすばらしい部屋の壁には十字架が架けられ、聖書が置かれていたが、頑強な鉄製のドアにはノブがなく、いくら人を呼んでも反応がなかった。

『とらわれて夏』ではジョシュはケイト・ウィンスレットとの「心理戦」の芝居がほとんどだったし、演技力抜群の女優ケイト・ウィンスレットとの相乗効果が期待できたが、本作導入部のほとんどはジョシュの一人芝居だから大変！高級スーツを着たまま酔いつぶれて徘徊する姿はみつともないが、監禁部屋に閉じ込められてから見せるジョシュの一人芝居は、韓国版でチェ・ミンシクが見せたのと同じように迫力十分だから、それに注目！

■□■ 10年 vs 15年 vs 20年、その間のニュースは？ ■□■

韓国版を観ていなくても、本作を観れば、韓国のみならずアメリカにも「監禁ビジネス」なるものが存在し、チェイニー（サミュエル・L・ジャクソン）がそれを仕切っていること



「オールド・ボーイ」 BD&DVD 発売 (2014年11/5 発売)
発売元: ブロードメディア・スタジオ 販売元: ポニーキャニオン
©2013 OB PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

ことがわかる。しかし、その依頼主とは一体どんな人種？それが中盤以降の本作の焦点になる。

食事が餃子だけというのはハリウッド版も韓国版も同じだが、なぜハリウッド版のそれはハンパーガーだけではないの？また、テレビから流れてくるニュースが外部との唯一の接点というのも韓国版と同じだが、そこで流れてくるニュースは？原作は監禁期間が10年、韓国版は15年、そして本作

は20年と差異がある。したがって、1988年から15年間監禁された韓国版では、テレビから流れてくるニュースは、①天安門事件、②東西ドイツの統合、③金大中大統領の就任等々だった。それに対して、1993年から2013年まで20年間監禁された本作の監禁室のテレビから流れるニュースは、①9.11同時多発テロ、②ブッシュ大統領によるイラク戦争、③ハリケーン・カトリーナの襲来、④初の黒人大統領バラク・オバマの誕生等々だ。

ちなみに、日本では1993年8月の細川護熙連立政権の誕生によって、日本の新しい夜明けの誕生かと思われたが、残念ながら2001年4月から5年半続いた小泉純一郎改革の時代を除いては、「失われた20年」が続いた。また、2009年8月の政権交代による民主党政権の誕生も、何の転換点にもなりえなかったことは周知のとおりだ。

■□■ ジョーの脱出は意外な形で ■□■

テレビ報道の中で、自分が妻ドナ殺しの犯人に仕立て上げられたことを知らされたジョーは、一度は絶望のどん底に沈んだ。しかし、5年後のテレビ番組『犯罪ミステリー』では、ある夫婦に養子として引き取られた一人娘ミナが小学生になり、チェロを弾く姿が紹介されたから、そこから一念発起。以降一切の酒を断ち、テレビ番組を観ながら身体を鍛え、毎日少しずつバスルームのレンガ壁を剥がしていったから、偉いものだ。

しかして、20年後の今日は監禁部屋からの脱出を決行する日。まずは予行演習的にバスルームのレンガを取り除き、身体を移動させてみると何とかうまくいきそう。そう思い、

「いざ本番！」となったが、その瞬間、なぜか部屋の中には煙が充満し、情けないことにたちまちジョーは昏倒してしまうことに。これでは、せっかくの脱出計画も水の泡に・・・。

ロビンソン・クルーソーは漂着した無人島で28年間も暮らしたが、そこでは自由に動き回ることができたから、20年間も同じ部屋に監禁されたジョーよりはまだまし。そう言えるかどうかはわからないが、ヒゲぼうぼうの姿になっているのは、ロビンソン・クルーソーもジョーも同じだ。したがって、やっと決行した脱出計画が失敗すれば、再びジョーは監禁生活に逆戻り。ジョーのみならず観客の誰もがそう思ったが、意外にもスパイク・リー監督がスクリーン上に示す次のシーンは、野っ原に置かれた大きなトランクから抜け出すジョーの姿。しかも、ここでジョーのヒゲはキレイに剃られていたうえ、それなりのスーツを着て目にはサングラスが。これは一体なぜ？誰がジョーに対して、こんな手の込んだ細工を？

何はともあれ、狭い監禁部屋から広い大地に解放されたジョーは大喜びだが、何とその目の前にはあの時の黄色い傘の女の姿が見えたから、ジョーがこれを追ったのは当然。さあ、その後の展開は・・・？

■□■声だけの犯人のヒントは？大乱闘の見せ場は？■□■

女を見失い、路上でトラブルを引き起こしたジョーを助けたのは、ソーシャル・ワーカーをしている若い女性マリー・セバスチャン（エリザベス・オルセン）。マリーはなぜジョーのような奇妙な男に興味を示したの？それが、本作のラストにみる驚愕の結末に繋がっていくからよくよく注目を！また、ジョーが身を寄せたのは、20年前に泥酔状態のジョーに対して「もう閉店だ」と言って酒を飲ませてくれなかった旧友のチャッキー（マイケル・インペリオリ）のバー。だが、ジョーをかくまったことによってチャッキーにはその後どんな人生が・・・？

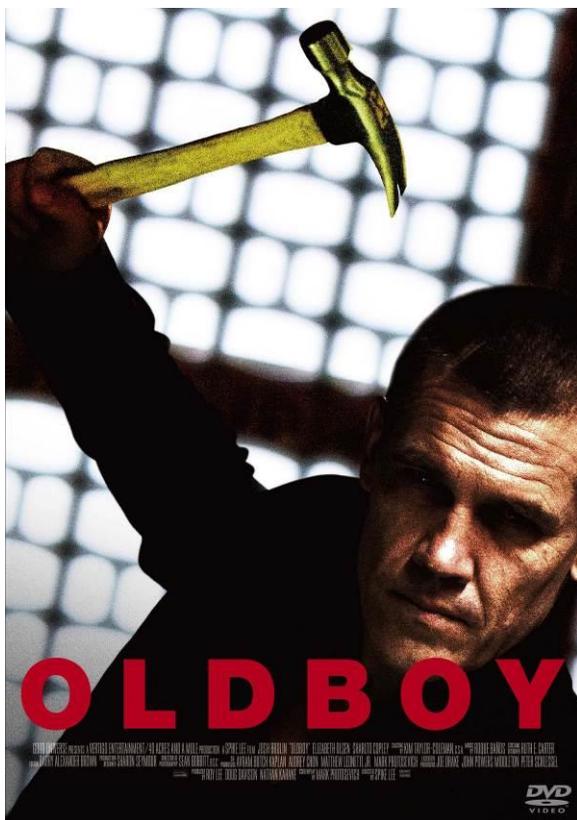
それはともかく、そんなジョーのポケットに入っていたスマートフォンには、「外の1日目はどうだ？いずれ私から、ある提案をする」という電話が入ってきたから、ジョーは「俺を監禁した犯人はきっとこいつだ」と確信。しかし、その声に全く聞き覚えのないジョーは、監禁中に毎日食べていた餃子の店の名がドラコンだったことを頼りに、マリーの協力を得て片っ端から調べていくと、デリバリー先の殺風景なビルを突き止めたからしめしめ・・・。そこから監禁ビジネスの元締めをしている男チェイニー（サミュエル・L・ジャクソン）を突き止めたジョーは、チェイニーに対してサディスティックな拷問を加えて依頼主の名前を聞き出そうとするが、それが意外に難航。そして、チェイニーを助けに来た手下どもを相手にハンマーをふるう大アクションになる。ある意味これは韓国版の二番煎じだが、どうしても強調しなければならぬ本作の見せ場にもなっている。私はやはり、チェ・ミンシクの乱闘ぶりの方が好きだが、さてあなたは・・・？

■犯人は誰だ？なぜジョーを監禁し、なぜ解放を？■

韓国版では犯人役をあくまでクールな演技に徹したユ・ジテが演じたが、本作で犯人エイドリアンを演ずるシャーロット・コブリーの演技もあくまでクール。韓国版では「そのストーリーについて『秘密を守れ！』が絶対条件」で、「スタッフ契約書には、映画の結末を公開前に口外したら違約金を科すという条項があった」らしい。したがって、その評論を書くについてはかなり神経を使ったが、そこで「デスとウジンは高校時代の先輩・後輩の仲だった」という「大前提となっている事実の1つ」だけは説明した。しかして本作においても、大胆にもチャッキーのパーに顔を出した犯人エイドリアンとジョーとの関係は基本的にその「枠組み」を踏襲している。

誰でも感受性豊かな中学・高校生時代には、淡い初恋に心をときめかした経験がある一方、知らない間に他人の心を傷つけた経験があるはずだ。そんな場合、加害者となった者はその経験を忘れても、被害者となった者はずっとその恨みを持ち続けることになるものだ。本作はいわば、そんなハイスクール時

代の「ある体験」が20年間にわたる監禁の動機となっていることが後半の展開から見えてくる。ところが、そこでエイドリアンからジョーに対して提起される質問は、「なぜ監禁されたのか？」と共に「なぜ解放されたのか？」というものだ。つまり、脱出のためにジョーが払ったあれほどの努力は実は何の意味もないもので、監禁した側の意志によってジョーは解放されたにすぎなかったわけだ。本作のラストに向けては、「なぜ監禁されたの



「オールド・ボーイ」 BD&DVD発売 (2014年11/5発売)
発売元：ブロードメディア・スタジオ 販売元：ポニーキャニオン
©2013 OB PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

か？」と共に、なぜ「解放されたのか？」という質問に対する答えを導き出すためのジョーの苦しい闘いが続くことになるから、私たちがジョーと共にその過程をしっかりと確認したい。

■□■恋模様の展開は？あっと驚く結末は？■□■

本作の基本的な対立軸は、後に同級生だったことが明らかにされる、監禁された男ジョーと監禁した男エイドリ안의2人だが、登場する若い女性も2人だ。1人は登場シーンは少ないものの、暗示的な存在となる「黄色い傘の女」。もう一人は、途中からなぜかジョーに興味を示し、ジョーに協力する女マリーだ。黄色い傘の女が実はどんな女だったのかはあなた自身の目でしっかり確認してもらいたいが、マリーを演じたエリザベス・オルセンは『マーサ、あるいはマーシー・メイ』（11年）で、「加速する狂気を熱演」した新星エリザベス・オルセン（『シネマルーム30』218頁参照）。同作で2011年サンダンス映画祭の監督賞を受賞した29歳の新人監督ショーン・ダーキンが見出したそんな「新しいミュージズ」は、本作でも強烈な存在感を見せている。

とは言っても、本作の主演はあくまでジョーだから、マリーが果たす役割はあくまで助手的なものにすぎないが、なぜ彼女はジョーに対してそこまでの協力を？それは「ソーシャル・ワーカー」としての義務感だけ？それとも・・・？ 韓国版では、解放されたデスに協力するうち、少しずつデスに惹かれていく女性ミドを演じたカン・ヘジョンは、演技力はもちろん、かなりハードなシーンも堂々とこなしていたし、時々見せるヌードシーンも良かったが、さてマリーは？

ジョーとマリーの2人が激しく結ばれるのは、あるモーテルの中。ジョーとエイドリアンが共に高校時代を過ごした母校の元校長エドウィナ・バーク（リンダ・エモンド）から事情を聴き、夜中に学校に忍び込んで発見した卒業アルバムの中から、ジョーがある忌まわしい過去を思い出した直後だ。心身ともに傷ついた2人がこんな形で惹かれあい、結ばれたのは必然かもしれないが、もしこの恋模様の展開がエイドリ안의想定の内だとしたら・・・？

しかして、本作ラストにはクエンティン・タランティーノ監督の『キル・ビル～KILL BILL～ Vol. 1』（『シネマルーム3』131頁参照）、『キル・ビル～KILL BILL～ Vol. 2』（『シネマルーム4』164頁参照）で見たラストや、高倉健のヤクザ映画のラストのように、マリーの制止を振り切ってすべての落とし前をつけるべくエイドリানেরペントハウスに向かうジョーの姿が登場する。そこに待ち受けるのはエイドリアンと黄色い傘の女だけだが、さてそこで展開される「死闘」と、とことん凝縮された心理ゲームとは？そして、ある意味あつけないとも思えるエイドリানের最後と、ジョーが永久に抱き続けなければならない苦悩とは？しかして、エイドリানের復讐は成功したの？それとも・・・？